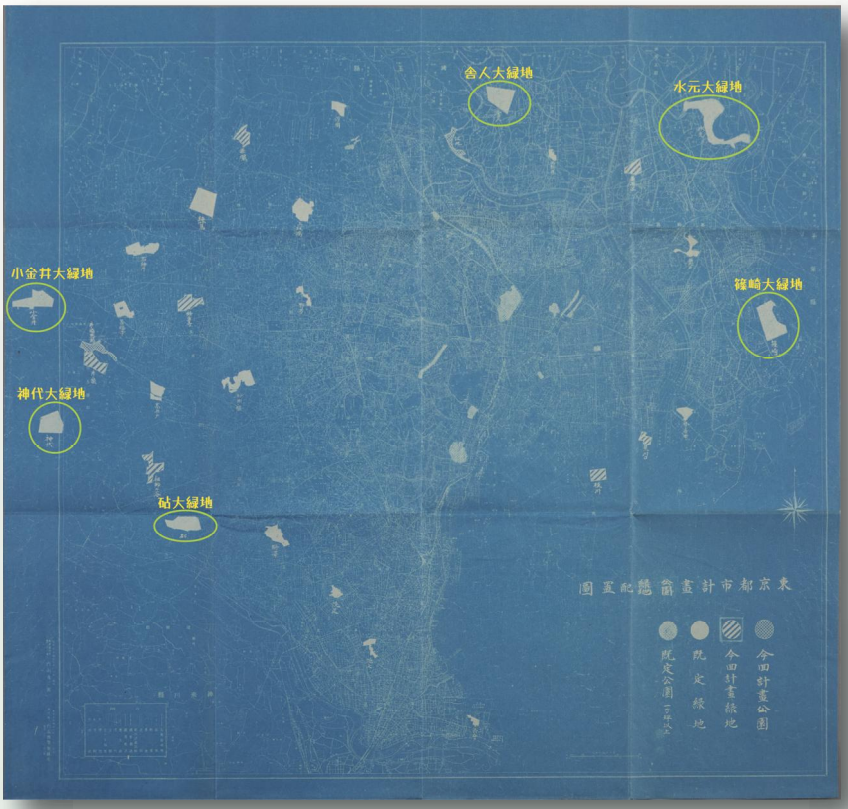
紀元2600年事業における大緑地計画事業



東京都市計画公園緑地配置図　請求番号：U519.8-とち-666

昭和15年(1940)は 神武天皇が即位されたといわれる年を紀元元年とする「紀元2600年」にあたり、東京府では「記念二千六百年記念事業」として６か所の緑地造成を推進しました。

大緑地計画と称したこの緑地計画は、東京府が昭和14年４月１日に設置した東京府紀元二千六百年記念事業審議会にて審議され、翌年２月８日の臨時府会にて可決されました。３月９日に都市計画東京地方委員会に付議して、東京都市計画並びに同事業に決定されました。

東京駅を中心とした20km圏内外(環状緑地計画の範囲)で、地積20万坪から50万坪の緑地に設置し、昭和14年度から17年度の４か年で2,150万円の予算を投じる大規模な計画でした。